

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年9月2日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0272100926		
法人名	株式会社幸友会		
事業所名	グループホームしあわせ		
所在地 (電話番号)	〒038-2705 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町南浮田町字金沢街道の沢55-9 (電話) 0173-82-1701		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年7月15日	評価確定日	平成21年9月2日

【情報提供票より】(平成 21年 6月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年 3月 18日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 8 人, 非常勤	人, 常勤換算 5.2 人

### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り		
	1 階建ての	階 ~	階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	4,500 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	400 円	おやつ 0 円
	または1日当たり 円		

### (4) 利用者の概要( 6月 1日現在)

利用者人数	8 名	男性 1 名	女性 7 名
要介護1		要介護2	3 名
要介護3	3 名	要介護4	1 名
要介護5	1 名	要支援2	名
年齢 平均	84 歳	最低	78 歳
		最高	96 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	木村内科医院, 福土歯科医院
---------	----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

新興住宅地の一角にあり、ホームの回りは畑や田んぼ、山があり緑豊かな環境である。ホームの理念「笑顔がつくるしあわせ家族」を掲げ、職員は常に笑顔で思いやりを持ち接することに徹し、入居者の皆さんが笑顔で生活できるように努めている。管理者は、食に力を入れており、安全でおいしいものを提供することに努めている。水にもこだわり、湧き水を岩木山のふもとへ汲みにいき、一度沸騰させ冷ましたものを飲んでいただき、料理には季節の旬をとり入れ、おいしいと思える食事の提供に努めている。入浴に関しても、身体の不自由な方も安全に入浴を楽しめるように、リフトを設置している。また訪問看護ステーションとの連携で医療面で不安のないように支援されている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価の改善点である、町内会の運営推進会議への参加については、今年町内会も発足され、早速入会し3ヶ月に1回の運営推進会議へ参加して頂いている。介護計画の見直し時の同意書に関しては、遠方にある家族へは郵送し同意書を頂いている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者、職員全員で作成することにより、日常のケアの再確認及び改善事項など気付の点もあり、ケアの向上に活かされている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	参加者は家族、職員、行政、今年町内会発足があり初めて町内会長、民生委員の参加もあり、外部評価の報告や行事(祭りなど)の参加、災害時の協力要請、権利擁護事業への対応などの取り組みがされている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)
	利用者の生活状況は面会時説明している。金銭管理についても個人の出納帳があり定期的に確認してもらっている。ご家族から意見や要望が出やすいように、管理者、職員から面会時の声かけを多くし、サービスの質の向上に努めている。その他、ホームのたよりを送付し、不安解消に努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の年配者は散歩時にお茶のみに立ち寄りたり、ホームの祭りには地域の方の参加もある。利用者の散歩時は挨拶を交わし、野菜、山菜を届けてくれるなど交流がある。また町内会が発足され入会することにより地域の理解も深まってきている。また個人情報配慮した上で、ホームのたよりを定期的に回覧し理解を深めてもらえるように努めている。

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	管理者、職員一同、利用者が楽しく幸せな生活を送れるようにと独自の理念「笑顔がつくるしあわせ家族」を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は日々のミーティング、申し送り時に理念について確認し合い、また施設の数箇所に理念が掲示され常に笑顔で接し、幸せに過ごせるよう努力されている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	新興住宅地の為、今年地域の町内会が発足され、早速入会し交流が進んでいる。また散歩時に近隣の方と会話をされたり、ホームの祭りには地域住民の参加を促したりと努力されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価票は職員全員で作成し、管理者が確認をしている。また前年の外部評価での課題にも職員全員で取り組み改善されている。外部評価はホーム内に掲示し閲覧できるようにしている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議には家族、職員、町内会長、民生委員、行政職員の方々に参加して頂き外部評価の報告をし、意見交換されサービス向上に努めている。現在は3ヶ月に1回行っている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町村へホーム便り、外部評価の結果を提出し、課題について助言、指導を頂きサービス向上に努めている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>外部研修や内部での勉強会を通じて学び、理解をされているが、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度を活用するにあたり職員全員が周知されることを期待します。</p>		<p>権利擁護が必要と見られる利用者いる場合、職員全員に説明、勉強会、アドバイスしながら利用者の支援することを期待したい。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止のマニュアルを作成しており、職員はよく理解している。また虐待防止法については学ぶ機会を多く持ち取り組んでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時は入所前に利用者、家族に十分な説明をし、施設見学をしていただいたり不安のないように努めている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族への報告は定期的、または面会時、変化のあった場合など必要に応じ報告している。金銭管理については個々の出納帳に記録、領収書を添付し月1回報告している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情処理体制が明確であり、家族へも周知されている。面会時には意見、要望が出やすい言葉がけに努めている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>管理者は職員に大きな負担がかからないようあらゆる点から配慮されており、現在まで離職者は殆どいないが離職者があった場合は広報誌などで家族にも報告するようにし、入居者への配慮に努めるようにしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員個々のスキルにあった外部研修に参加受講し、研修後は報告会を行い全員に周知している。また管理者は各資格取得に関しても支援されている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>3ヶ月に1回の頻度で鮎ヶ沢地区のグループホームの意見交換会に参加しており、情報交換などが行われサービス向上に活かされている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入所時には事前訪問し説明をしている。また希望に応じ利用者、家族にホームを見学して頂いている。不安を取り除き何を求めているかを聞く機会を作り、利用者を受け入れられる関係作りに努めている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者一人一人の個性を活かし個々の能力を引き出す努力をされている。また人生の先輩である利用者から学ぶことも多く互いに支えあう関係にある。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>					
<p><b>1. 一人ひとりの把握</b></p>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は利用者との会話を多く持ち、その会話の中から本人の思いや希望を引き出す努力をされている。またご家族、関係者からも情報を得るように努力している。</p>		
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>毎日の生活の中から利用者個々の希望や思いを引き出し、家族や関係者の意見、要望を反映した介護計画を作成するように努めている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月～6ヶ月ごとの定期的な見直しと、状態の変化に応じ随時見直しを行い、ご家族とも話し合い現状に即した介護計画作成に努めている。</p>		
<p><b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b></p>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>病院への受診や通院への支援をされ、医師、訪問看護ステーションとの連携により細やかな支援がなされている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族の希望を取り入れ、かかりつけ医の医療機関で継続受診ができるように支援されている。またホームかかりつけ医の往診は月1回あり、半年に1回の健康診断も行われている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族から要望があればかかりつけ医、訪問看護ステーション職員と連携を取りながら最後までホームで生活できる支援を行っている。今年家族が遠方に在住している利用者の看取りの対応をされている。		
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b> (1)一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	介助や声かけには一人一人の誇りやプライバシーを損なわないように配慮されている。また個人情報保護法のマニュアルもあり職員全員が理解されている。個人情報記録はきちんと管理されている。居室の表札や施設見学に関して、家族の同意を得るなどプライバシーの保護に努めている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人一人の状態、ペースに合わせ買い物や散歩など希望にそって、その人らしい支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>献立は利用者の希望を取り入れ食事の準備、片付けなど共に行っている。職員、利用者は一緒に席に着き、会話をしながら楽しい雰囲気の中で食事をしている。誕生日には、利用者の好物を献立に入れるようにしている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴日や時間帯は定められているが利用者の状態、希望に応じ、毎日でも入浴できる体制がある。浴室にはリフトも完備されており、入浴時利用者の身体的負担を軽減し、安心して楽しみながら入浴できる支援がされている。</p>		
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>食事の準備やテーブル拭き、茶碗拭き、お盆配り、部屋の掃除など一人ひとりの能力にあった役割があり、楽しみながら行われている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>散歩やショッピング等で外出する機会を設け、気分転換が出来るように支援されている。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に対する研修などにも出席され、学んだことを研修報告書を通し全職員が共有し理解している。またマニュアルも整備され、身体拘束の無いケアに取り組んでいる。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間のみ施錠している。日中玄関は施錠しておらず見守りにて対応されており、外に出る利用者の意思を尊重し、職員が同行されている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は6ヶ月に1回、消防署員立会いの下、消火避難訓練を1年に1回実地している。非常口にはスロープ式の避難通路が確保されている。また町内会に入会しており緊急時は地域の協力が得られるよう取り組んでいる。		
の					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は職員が利用者に希望をとり作成しているが、外部の栄養士に3ヶ月に1回確認して頂き助言を得ている。また食事の摂取量、水分摂取量は毎回記録し健康管理されている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	毎日の食器消毒、トイレの便座消毒はもちろん、水はいったん沸騰させて冷ましたものを飲んでいただいたり、食事は必ず火を通したものを提供するなど予防が徹底されている。また研修にも参加し勉強会の開催やマニュアルも作られ職員も理解している。玄関、洗面所に手指消毒器も設置されているが発生したときの対策等取り決めが明確になっていない。		感染症予防の対策は徹底されているが、発症された場合の対策、マニュアルを作成することを期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>新興住宅地にあり周りは田んぼ、山があり、自然に囲まれている。玄関には鉢植えの花が色とりどりに咲き、熱帯魚の水槽を置き利用者の目を楽しませている。居間には畳の空間があり、畳を埋め込むことで段差を無くする配慮がされており、居心地よく過ごせるよう工夫がされている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた家具や写真が置かれており、希望に応じベットの脇に畳を敷くなど、利用者が過ごしやすい工夫がされている。</p>		

 は、重点項目。